

十文字峠の石楠花

山行日：2019年6月1日（土）

行程：松戸 9:00 発＝鶴ヶ島 JT＝青梅 JT＝長坂 IT＝毛木平駐車場 0:30

駐車場 5:00—十文字小屋 7:20/40—乙女の森 7:50—カモシカ展望台 8:10—十文字小屋 8:25/50
—大山 9:40—十文字小屋 10:30/45—駐車場 12:30

松戸を前夜発で川上村の毛木平駐車場に0時半到着。仮眠を取り、早朝5時に出発です。朝もやがかかる森に入り少し歩くと直ぐに『千曲源流挾霧橋』という新しい橋を渡り十文字峠を目指します。スタートの駐車場で標高は既に1410m、清々しく冷えた空気に鳥たちのさえずりが響きます。甲武信ヶ岳山麓の森は千曲川源流が流れ、岩や倒木に瑞々しい苔が生え辺り一面グリーンの絨毯。カラマツ、コメツガ、シラビソの針葉樹に白樺、ナナカマド、カエデの広葉樹も一斉に若芽が芽吹き全てが緑の中の贅沢なハイキング。途中、石楠花がぼつぼつと見え隠れし十文字峠への期待が膨らみます。

休憩を取りながら2時間余りで十文字小屋に到着。小屋の周りの石楠花はまさに満開。ピンクの花を幾つも付け房になった石楠花が朝日を浴び輝く様に咲き誇り、思わずカメラのシャッターを切ります。この時期、石楠花目当ての登山客が多く小屋では甘酒祭りを開催。ですが到着したのが8時前で甘酒は準備中。我々は小屋から西に10分程の『乙女の森』に足を向けました。谷あいには石楠花が群生する乙女の森。視界いっぱい広がる石楠花は神々しく荘厳な光景でした。そこから更に10分程足を伸ばして『カモシカ展望台』へ。山肌から飛び出した岩の上に立つと悠然とした山容の八ヶ岳を望む事が出来ます。花と景色を堪能し十文字小屋に戻ると甘酒の準備が完了し1杯100円で頂く事が出来ました。

今回の山行は公開当初、毛木平から甲武信ヶ岳登頂、千曲川源流遊歩道を下り駐車場に戻る約10時間の周回コースでしたが参加女性メンバーの我がままから時間短縮。甲武信ヶ岳手前の大山ピストンで再び十文字小屋に戻りました。十文字小屋周囲の石楠花は陽が高くなるにつれ更に花が開いた様にも見えます。石楠花をバックに毛木平駐車場に戻った頃には60台の駐車出来る広いスペースも満車で関東最大級の石楠花と甲武信ヶ岳の人気を改めて感じました。

帰る途中にお蕎麦（絶品!!）と温泉（武川の湯）も満喫し贅沢な山行を楽しみました。



3人娘の我がままを快く受け入れて頂いたうえに長時間の安全運転をして下さったY賀リーダー、本当に有難うございました。ご一緒してくださったメンバーの皆さん、今度は甲武信ヶ岳周回コースにまたご一緒させてくださいね。

